

No. 27 Survival and Failure Patterns of High-Grade Gliomas After Three-Dimensional Conformal Radiotherapy.

June L. Chan et al

J Clin Oncol 20: 1635-1642. 2002

悪性神経膠腫に対して最近の3次元的な conformal な放射線治療を行い総線量 90Gy(1回2Gy、週5回)を34例に照射した。2段階の縮小(GTVにマージン2.5cm、1.5cm、0.5cm)を行い、それぞれ60、70、90Gyを照射している。その結果、観察期間11.7ヶ月、MST11.7ヶ月、2年生存率12.9%で34例中23例に局所再発を認めている。DVHによる再発分析で再発腫瘍の95%以上が高線量域に含まれる中心再発が18例を占め、80-95%までの in-field 再発が3例、20-80%の marginal が2例、0-20%の distant 再発を認めず、照射に伴う重篤な障害は観察されていないという結果であった。90Gyという高線量の照射を行うために close margin での外部照射が行われたが、悪性神経膠腫ではなおその再発はほとんどが腫瘍中心からであり、より低線量による再発形式と同じであった。これまでの報告では、高線量照射により再発形式が辺縁にシフトするというものが多く、この点で従来の報告と異なっている。さらなる線量増加(最終 boost 時の1回線量の増加)が予定?されており、その結果が待たれる。再発の診断が画像で行われている点が気になるが、DVHによる再発分析は3次元治療ならではの強みであろう。(鎌田 正)